



2008年5月16日

各位

会社名 新コスモス電機株式会社
 代表者名 代表取締役社長 重盛徹志
 (JASDAQ・コード: 6824)
 問合せ先 取締役管理部門担当 飯森龍
 (TEL: 06-6308-3112)

新コスモス電機「中期経営計画 2008-2010」について

当社は2006年度より「中期経営計画 2006 - 2008」をスタートさせ、『人と技術で安全快適な環境づくりに貢献する』をスローガンに、経営基盤の強化と成長軌道の確立のため【競争力の強化】と【体質の強化】を進めてまいりました。

この間の計画の進行状況や環境・市場動向の変化を踏まえ計画の見直しを行い、2008年度から2010年度までの「中期経営計画 2008-2010」を策定いたしましたので、その概要を下記の通りお知らせいたします。

1. 中期経営計画「2006 - 2008」の総括

「中期経営計画 2006-2008」では、【競争力の強化】と【体質の強化】に取り組み、2008年度売上高 200 億円・営業利益率 7%以上を目指してまいりました。

【競争力の強化】では、新たな水素センサの開発 産業用ガス検知警報器分野の首都圏での営業力強化と商品戦略による売上の拡大 中国現地法人の設立 等確実に計画を推進した一方で 住宅用火災警報器の伸び悩み などがあり、2006年度は計画を達成、2007年度は売上は計画未達成、営業利益は計画達成(いずれも単体ベース)という結果となりました。

【体質の強化】では、新たな人事制度の定着 内部統制システムの構築 安定した配当政策の実施 等を行ってきた一方で 生産インフラへの投資等の将来へのずれ込み といった課題が残りました。

「2006 - 2008 中期経営計画」における実績

(単位: 百万円)

	2006 年度計画 (2007 年 3 月期)	2006 年度実績	2007 年度計画 (2008 年 3 月期)	2007 年度実績
売上高	16,500	17,332	18,400	17,774
営業利益	885	1,238	1,110	1,225

*いずれも単体の数値

2. 「中期経営計画 2008 - 2010」(連結)の概要

当社では 2006 年度、2007 年度の結果を踏まえ、また社会状況の変化や新たな市場動向を分析し、引き続き『人と技術で安全快適な環境づくりに貢献する』をスローガンとし、【競争力の強化】と【体質の強化】に取り組む「中期経営計画 2008 - 2010」を連結ベースで策定いたしました。この目標に向かい、企業価値向上に邁進してまいります。

【2010 年度目標値】

売上高：200 億円以上

営業利益率：9%以上

設備投資：3 年間で 50 億円

「中期経営計画 2008 - 2010」における計画値

(単位：百万円)

	2008 年度 (2009 年 3 月期)	2009 年度 (2010 年 3 月期)	2010 年度 (2011 年 3 月期)
売上高	18,080	18,780	20,200
家庭用	8,460	8,500	9,350
工業用定置式	5,670	6,030	6,420
業務用携帯型	3,570	3,850	3,980
その他	380	400	450
営業利益	1,520	1,560	1,900

*いずれも連結の数値

【競争力の強化】

研究開発

「技術力の強化」をテーマとして、当社のコア技術であるガスセンサ開発では、官学との連携を有効に活用しながら多様化するニーズに対応できるガスセンサの開発に取り組みます。また商品開発では、海外市場で勝てる高品質でオンリーワンになりうる商品開発を行います。

市場別事業戦略

産業用ガス検知警報器部門

水素エネルギーや燃料電池といった新エネルギー市場、堅実な成長を続ける半導体・自動車市場、また新たに発生する温泉関連施設でのガス検知警報器需要に対する取り組みを重点的に行います。また、引き続き首都圏を中心とした営業力強化を図ります。

家庭用ガス警報器・住宅用火災警報器部門

2006 年からスタートしている住宅用火災警報器の設置義務付けにおいて、既存住宅への取り付けの本格化が見込まれることから、商品ラインナップの整備と販売ルートの確立により、住宅用火災警報器市場での販売力向上を目指します。

新規事業

当社独自の半導体式センサを用いた「ポータブル分析装置」、換気システムと連動することで効率的な換気を行い省エネに貢献する「換気扇コントローラ」、また当社独自のニオイセンサを利用した電気品の異常発熱の早期感知システムに注力していきます。

海外展開

2007年9月に設立した中国現地法人「新考思莫施電子（上海）有限公司」での生産・販売を軌道に乗せ、中長期的な目標である海外売上高比率30%を目指す足がかりとして2010年度海外売上高比率10%、中国での産業用ガス検知警報器の売上高10億円を目指します。家庭用ガス警報器は1997年に中国上海市に上海ガスと設立した合併会社により、上海を基点に中国国内の市場開拓を引き続き行います。

コストダウンへの取り組み

開発から生産・物流・メンテナンスに至るまですべての部門においてコストダウンに取り組めます。

【体質の強化】

人材育成

2006年度から導入した人事制度の一層の定着化を図るとともに、将来を担う人材の育成を行います。

設備投資計画

新商品開発のための投資および生産インフラへの投資を中心に3年間で50億円を行います。

CSR経営

当社では「新コスモス電機企業行動憲章」ならびに「企業行動マニュアル」に基づき、全員が法令・社会ルールを遵守し、正しい企業活動を行ってまいります。

株主還元

戦略的な投資活動を行う一方で、連結配当性向25%以上を目安とした安定した配当を実施することで、株主の皆様への利益還元に努めてまいります。

なお、当期の年間配当につきましては1株当たり19円を予想しております。

*本資料に記載されている業績目標は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。そのためさまざまな要因により、実際の業績が目標ならびに予測と異なる可能性があります。

以上